

HRTの種類	乳がん	子宮内膜がん	卵巣がん
ETP (エストロゲン・黄体ホルモン併用療法)	5年未満であれば有意な上昇は認められない	リスクは上昇させない	HRT療法の期間が長いと卵巣がんのリスクは上昇すると報告されている
ET (エストロゲン単独療法)	少なくとも7年未満であれば有意な上昇は認められない	リスクを上昇させる可能性があるため、黄体ホルモンの併用が必要	